

BRASIL [2]

JICA 日系社会青年ボランティア
2017.7 ~ 2019.7 青少年活動 兒玉愛恵

相模原市のみなさん、Bom dia! 現在 JICA の日系社会ボランティアとしてブラジルで活動しております、こだまなえです。私は「青少年活動」というもので派遣されていますが、活動の内容は「日本語教育」「日本文化の授業」「剣道」があります。その中で今回は中心となる活動の「日本語教育」について紹介します。

日本語学校

私は、日本文化協会内の日本語学校、分校での個人授業、近隣のリモエイロ市での出張授業を行っています。学校には日系の生徒だけでなく、日本語や日本文化に興味を持つ非日系の学生もたくさんいます。生徒からは日本についての質問も良くされて、私が知らないようなことを聞かれて「そんなことも知っているの？」と驚かされることもあります。

また、普段自然に使っている日本語について「なんでこれは【は】じゃなくて【が】を使うんですか？」など鋭い質問が来るとちょっと考えてしまうこともあります。

私は日本語を教えています、ブラジルのみんなから新しい日本の見方を日々教えてもらっているように感じます。



習字



文化の授業: 折り紙



柏餅は断念・お団子作り



リモエイロ市 公立小学校



月に一度出張で授業に行く州内のリモエイロ市では、公立の小学校～中学校4校で日本語教育が取り入れられています。ここには日本人、日系人が住んでいないので、私が行くと「日本人!？」と珍しそうに見られます。生徒から写真を一緒にとろうとよく言われ、なんだかテーマパークのキャラクターになった気分! 一見、日本人もいない、日本と何も接点がないような田舎の方の町でも、日本語教育を公教育に取り入れているなんて、なんだか不思議に感じませんか?

私の活動は日本を知る本当に少しのきっかけに過ぎませんが、「あの時、日本から来た先生が教えてくれたな～」と生徒たちの人生の一部に日本の記憶が残れば良いな、それがいつか日本を身近に感じるような経験になって欲しいな、と思いながらこれからも活動を続けていきたいと思っています。